

令和7年度 江戸川区立大杉東小学校 人権教育年間指導計画（第5学年）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	自分の大切さを認めることを中心とした指導 児童理解を深め、児童相互の望ましい人間関係を築く。 全ての児童の学校生活への適応を図る。				他の人の大切さを認めることを中心とした指導 児童相互で認め合える機会を設け、学級での存在感、安心感をもつことができるようにする。				互いの大切さを認めることを中心とした指導 1年間の学校生活を振り返らせ、自己の成長を確認する。			
各教科・ 読書科	社会科 世界の中の国土 世界の様々な国や自国の特徴について学ぶことを通し、世界との結びつきや関係について考える。		理科 生命のつながり 生命の誕生やつながりを理解し、 生命の尊さを考える。			国語科 固有種が教えてくれること／ 自然環境を守るために 関心のある環境問題について自分の 考えをもち、資料を用いて文章 にまとめる。		体育科 竹馬活動 竹馬に親しみ、体力向上を図ると 共に、教え合いを通して児童 相互の結びつきを深める。		社会科 環境問題について考え、身近な環境を守ろうと する意識をもつ 公害病の苦しみや生命のかけがえのないもので あることを理解する。		理科 生命のつながり 生命の誕生やつながりを理解し、 生命の尊さを考える。
	家庭科 私の生活、大発見！ 家庭の仕事を理解し、 家族の大切さを考える。	体育科 運動会に取り組み、 自信をもつ 協力する大切さを 理解する。	外国語 他国の言語や文化、習慣等について学ぶ ことを通し、互いの人権を尊重し、国際 交流をすすんで行おうとする。					音楽 伝統的な音楽及び諸外国の様々な 音楽に触れることを通し、豊 かな情操を養う。				
特別の教科 道徳	自由と責任 自他の自由を尊重 しつつ責任ある 行動がとれる ようになる。		友情・信頼 友達と互いに信 頼し、よさを認 め合える関係を 築いていこうと する。【子供】	公正・公平 差別や偏見をしない 正義ある姿で人と接 することができるよ うになる。【子供】 「インターネットに よる人権侵害」					自然環境 身近な自然環境こ のように関わ っていくことが できる考え、自然 環境を守ろうと する心をもつこ とができるよ うになる。		国際理解、国際尊重 他国や自国の文化を尊重し、 国際親善に努めていこうと する。 【外国人】	
総合的な 学習の時間	環境問題について考えよう 様々な環境問題の現状や解決への取り組みを調べ、自然環境を大切にする心や態度を育てる。					「もったいない運動」に取り組もう 環境をよくするために自分ができることを考え、 実践していく意識や態度を育てる。					最高学年に向けて 卒業生への感謝の気持ちや最上級生に なるという自覚をもたせる。	
	仲間活動（縦断班）・ペア活動（通年）：異年齢の集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的・主体的態度を育てる。 朝読書（通年）：人権問題に関する本を読むことを通して、人権問題についての理解を深めさせる。											
特別活動	学級活動 思いやりをもてる学級作りについて考 える。		セーフティ教室 ネットモラルに 関する保護者講 演会を通し、家庭 でのネット環境 を整える。「イン ターネットによる人権 侵害」		学級活動 よりよい生活を実現しようという意欲をもつ		竹馬活動・竹馬運動会 縦断班活動の中で、竹馬に親しみ、体 力向上を図ると共に、教え合いを通し て児童相互の結びつきを深める。		ウインタースクール 自立心をもたせる。 協力することの大切さを身に付ける。		学級活動 1年間の振り返り 協力して学校生活 を築いていく大切 さを考える。	
	運動会 体力と自主性・協力する心情を育てる。						学習発表会 表現活動を通して、豊かな情操を育てる。					
その他	保護者会・個人面談 家庭からの連絡など から児童の実態を把 握する。	ふれあい時間（いじめ防止） アンケート・聞き取り・指導		個人面談 家庭との連絡を密 にし、一人一人の 児童理解をさらに 深める。	ふれあい時間（いじめ防止） アンケート・聞き取り・指導		ふれあい時間（いじめ防止） アンケート・聞き取り・指導			ユニセフ集会・募金 世界の子どもについて関心をも ち、自分の貢献について考える。		

「 」＝個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題）
 ⇔＝関連的な指導
 ≡＝「多様性と調和」の実現を目指し、互いに尊重し合う態度を育成すること。